

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C	令和5年3月9日		
横断的な課題	八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした地域づくりの推進							
地域重点政策	3 選ばれ続ける観光地域づくり					諏訪地域振興局		
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属	企画振興課		
事業名	縄文トレイルサイクリングコース開発事業				電話	0266-57-2901(内線2317)		
					E-mail	suwachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業概要等	目的 (目指す姿)	平成30年に日本遺産に認定された「星降る中部高地の縄文世界」事業のPR体制強化を図る。						
	現状と課題	日本遺産認定後の3年間は、文化庁の補助金を活用して、甲信縄文文化発信・活性化協議会において基盤整備を行ってきたが、事業の最終目標である「民間主導による、民間資本を活用した自立性のある事業展開」を達成するには、各構成団体による日本遺産のさらなる周知が必要となっている。令和3年度においては、観光関係者を交えたWGを設置し検討を進めてきたが、縄文に関心を持っていない層を取り込む手段の一つとして諏訪地域で積極的に進めているサイクルツーリズムとのコラボレーションの有効性について確認することができた。						
	内容 (変更後の内容)	<p>サイクリングをはじめとするアウトドアを好む一方、縄文への関心が薄い層に博物館等を訪問してもらうことを目的に、縄文をテーマとしたサイクリングコースをモデル的に開発する。</p> <p>【内容詳細】</p> <p>1 サイクリングコース開発(諏訪湖周辺)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部アドバイザーから助言を頂きながら、WGメンバーと意見交換を行いつつ、縄文関連博物館と観光地を結び付けたコースの開発にあたる。(7~8月) コース試走会(9月) 開発したサイクリングコースの試走会を実施する。試走後、必要に応じてコースの見直しを行い、コースを完成させる。 イベントの開催(10月) 一般参加を募集し、サイクルイベントを開催する。参加者のメインターゲットは歴史を学び始めるタイミングである小学校5年生・6年生およびその家族を想定。協議会で制作した諏訪湖周辺の博物館が舞台の謎解きブックを活用し、各博物館を訪問してもらう方法で実施する。 <p>2 サイクリングコース開発(八ヶ岳)</p> <p>令和5年1月以降で八ヶ岳における上級者向けコースの開発を検討する。</p>						
	事業期間	令和4年6月			~	令和5年3月		
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実施額	備考				
	縄文トレイルサイクリングコース開発事業	コース開発及び試走会におけるアドバイザー謝金		74,400				
		アドバイザー旅費		3,607				
		チラシ代、景品代、ペットボトル飲料代		75,998				
		レクリエーション保険代、新聞広告費		5,658				
		カラーコピー代		415				
自転車賃借料			12,000					
合計			172,078					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	コース開発数		1コース	1コース	● 達成			
	イベント参加者数		15名	17名	○ 一部達成			
	コース満足度調査 評価点数		平均3.5点 (5点満点)	5.0点	○ 未達成			
事業実績・成果	<p>諏訪湖周辺の縄文に縁のあるスポットをつないだサイクリングコースを設定し、10月に地域の小学生及びその保護者を対象としたサイクリングイベントを実施した。目標の15名を上回る17名が参加し、開催後の満足度調査でも、全参加者が5段階評価で最も高評価の5を選択し、大変好評なイベントとなった。</p> <p>また、事業内容として、「サイクリングをはじめとするアウトドアを好む一方、縄文への関心が薄い層」に対し、サイクリングを切り口に縄文文化に興味を持ってもらう仕組みを作ることを掲げていたが、上記調査の結果から、今回のイベントを通じて縄文文化に興味・関心が高まったという意見が多数寄せられたことから、一定の成果をあげることができた。</p>							
今後の方向性	来年度は八ヶ岳エリアにおいて、縄文時代に縁のあるスポットを結んだサイクリングコースを制作する計画。							